

令和5年3月17日
国土交通省関東地方整備局
高崎河川国道事務所

工事発注手続きについて

～「CCUS 活用工事（受注者希望型）」の発注手続きを行います～

「R4 烏川右岸根小屋地先井戸沢川下流護岸他工事」において「CCUS 活用工事（受注者希望方式）」を試行します。

「R4 烏川右岸根小屋地先井戸沢川下流護岸他工事」において、受注者の自主的な CCUS 活用の取り組みの評価を指標毎の目標基準の達成状況に応じて工事成績評価で加点を行う「CCUS 活用工事（受注者希望型）」を試行します。

《スケジュール》

- 入札公示、入札説明書 交付 : 令和5年3月17日（金）
- 競争参加資格確認申請書 提出期限 : 令和5年3月27日（月）
- 入札書・工事費内訳書 提出期限 : 令和5年4月21日（金）
- 開札日 : 令和5年4月26日（水）

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 刀水クラブ・テレビ記者会 高崎記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 高崎河川国道事務所

電話：027-345-6000（代表） FAX：027-345-6091

副所長 土屋 秋男（つちや あきお）（内線：206）

工務第一課 課長 清水 良朗（しみず よしお）（内線：311）

《工事概要》

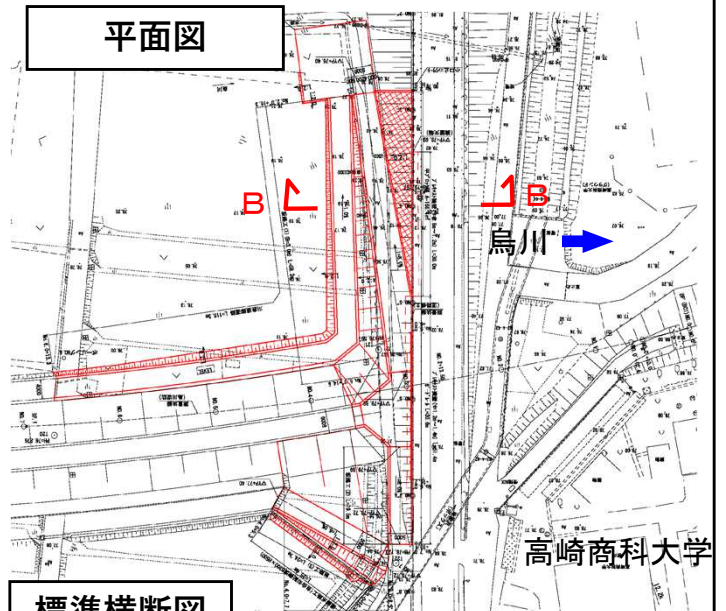
- (1) 工事名 : R4烏川右岸根小屋地先井戸沢川下流護岸他工事
- (2) 工事場所 : 群馬県高崎市根小屋町地先外
- (3) 全体工期 : 契約締結の翌日から令和6年3月31日まで
余裕期間制度（フレックス方式）
- (4) 入札方式 : 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
- (5) 工事種別 : 一般土木工事（C等級）
- (6) 工事内容 :
 - ・護岸工 約4,000m²
 - ・盛土工 約3,000m³
 - ・プレキャスト擁壁工 約80m



平面図



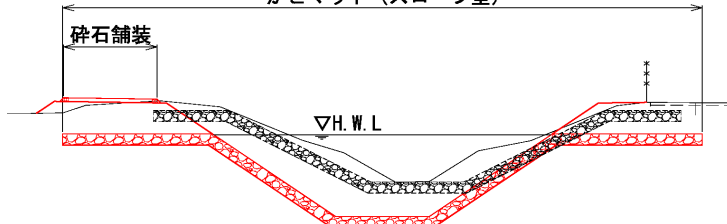
平面図



標準横断面図

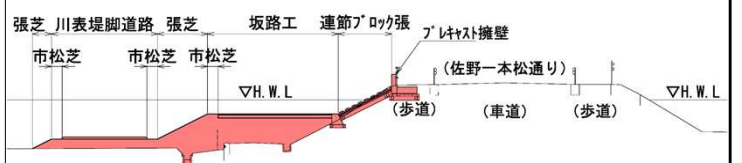
A-A

かごマット（スロープ型）



標準横断面図

B-B



1. 試行内容

受注者が工事着手前に自主的に建設キャリアアップシステム（CCUS）の活用に取り組む旨を希望した場合は、下表のとおり3つの指標（以下、「3指標」という）の最低基準及び目標基準を指定し、指標の取り組みの達成状況に応じて工事成績評点において加点を行います。

指標	最低基準	目標基準
平均登録事業者率	70%	90%
平均登録技能者率	60%	80%
平均就業履歴蓄積率	30%	50%

2. 施工段階

受注者が工事着手前に自主的にCCUSの活用に取り組む旨を希望した場合は、特記仕様書に定めた時期に、受注者から3指標の取り組み状況の報告を求めます。

3. 工事成績評定（工事完成検査／成績評定時）

受注者が工事着手前に自主的にCCUSの活用に取り組む旨を希望した場合は、下記のとおり3指標の達成状況に応じて工事成績評点で加点を行います。

① 受注者が3指標全てにおいて目標基準を達成した場合は1点加点
⇒ 考査項目別運用表 「5. 創意工夫」「その他」で加点

② 上記①に加え、平均登録技能者率90%以上を達成した場合は同考査項目でさらに1点加点（①と②で合計2点加点）

なお、受注者が3指標いずれかにおいて最低基準を達成しなかった場合は、工事完成検査終了後に受注者から工事名、未達成の項目、要因及び改善策の報告を求めます。

※3指標の最低基準及び目標基準、工事成績評定は、「CCUS活用推奨モデル工事」と同様です。

4. 積算方法

カードリーダー設置費用、現場利用料（カードタッチ費用）を支出実績に基づき設計変更で費用計上します。

- 「建設キャリアアップシステム」は、技能者の資格、社会保険加入状況、現場の就業履歴等を業界横断的に登録・蓄積する仕組み
- 若い世代にキャリアパスと処遇の見通しを示し、技能と経験に応じ給与を引き上げ、将来にわたって建設業の担い手を確保し、ひいては、建設産業全体の価格交渉力を向上させるもの
- また、労務単価の引き上げや社会保険加入の徹底といった、これまでの技能者の処遇改善の取組をさらに加速させるもの

<建設キャリアアップシステムの概要>

※システム運営主体
(一財)建設業振興基金

技能者情報等の登録



【事業者情報】

- ・商号
- ・所在地
- ・建設業許可情報 等

【技能者情報】

- ・本人情報
- ・保有資格
- ・社会保険加入状況等

【現場情報】

- ・現場名
- ・工事の内容
- ・施工体制 等

カードの交付・現場での読取

ピッ!



現場入場の際に読み取り



技能者の経験の見える化・能力評価

評価基準に合わせて
カードを色分け



レベル1
初級技能者 (見習い)

レベル2
中堅技能者
(一人前の技能者)



レベル3
職長として現場に
従事できる技能者



レベル4
高度なマネジメ
ント能力を有す
る技能者 (登録
基幹技能者等)

就業履歴を蓄積

現場管理のIT化・書類削減

見積り・請求のエビデンスとしての活用

施工実績DB・ビッグデータとしての活用

